

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	富沢文洋
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519
事務事業名	10666 道路改良事業（地域住宅支援）											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	06033300 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	020000 道路改良事業（地域住宅支援）										
事業目的						事業概要・効果						
社会資本整備総合交付金の地域住宅支援事業を活用し、狭あい道路を地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して、地元合意により計画的に整備を図る。						狭あい道路の改良は緊急車両の進入が可能となり、また、地域住民の日常生活や地域振興に大きく貢献する役割を果たす。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
北組沖1号線ほか1路線 用地・補償	北組沖1号線外1路線 用地・補償
平成29年度 予定	平成30年度 予定
北組沖1号線外1路線 用地・補償・工事	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	狭隘道路整備延長						
算式						単位	m
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	0	32	0	0	0	
	実績	0					
指標選定の理由	地元要望、緊急度及び財源等により事業実施計画を策定						
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		6,999	10,030
特定財源	国庫支出金	2,131	5,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	1,884	4,500
	その他	0	0
一般財源		2,984	530
人員数(人)	正規職員	1.0	1.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	7,219.0	8,662.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,219.0	8,662.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		14,218.0	18,692.8

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,999	立木等補償

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,010	補償物件調査業務委託
15節 工事請負費	8,010	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,010	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	家屋移転等あり縮減は難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

補助事業での対応により予算の確保が必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源を確保し、狭隘道路の解消に向け、計画的に整備を行う。		狭あい道路の改良は、地域住民の日常生活や地域振興に大きく貢献するため、財源を確保し計画的に道路整備を進めていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	